

「免税店は？上場は？」...検、ロッテを強打である

免税店家宅捜索など四面楚歌、ホテルロッテ上場などの影響か

経営権紛争を終えしながらホテルロッテ上場に新しい跳躍を準備していたロッテグループが相次いで起きた大規模な悪材料に戻って揺れている。検察は 2 日、ロッテ免税店の本社と辛格浩ロッテグループ総括会長の長女であるシンヨウンジャロッテ福祉財団理事長自宅をネイチャーリパブリックの入店ロビー疑惑と関連して電撃押収捜索した。加湿器殺菌剤の事態に巻き込まれたロッテマートもノビヨン前代表（現ロッテ物産代表）が被疑者の身分で、この日、検察に出席して調査を受けた。前ロッテホームショッピングは、昨年再承認申請の過程で不正役員の一部が欠落して史上初の 6 ヶ月のプライムタイムの放送送出禁止処分を受け存廃の危機にまで追い込まれた。文字通り四面楚歌（四面楚歌）だ。

特にロッテ免税店押収捜索は、ロッテグループの行方を左右することができる超大型悪材料だ。すぐに目の前に迫ったソウル市内の免税店追加の入札に悪影響を与えることができる。関税庁は、早ければ今週入札公告を出して年末に 4 つの事業者を追加選定する方針だ。昨年未蚕室ワールドタワー店免税店特許を喪失していたロッテ免税店は、今回の入札を通じて救済を受けるものと見たが、検察の押収捜索に保証することができない状況になった。免税店の新規事業者の選定基準は、公正取引法上の市場支配的地位を乱用して公正な競争を害する企業については、入札参加を制限ハゲクムされている。ワールドタワー店の不透明な運命は、すぐにホテルロッテ上場に接続されている。ワールドタワー店は、昨年、ロッテ免税店全体の売上高のうち 13% を担当した店舗として 12 月蚕室ロッテワールドタワーが完成したら、相乗効果で年間売上高 1 兆ウォン以上を上げることが期待される。ホテルロッテの企業価値算定の重要な要素だ。ホテルロッテは、今月末に上場を控えて公募手続きを進め中なのに公募が泡議論が起きている中、飛び込んだ検察の押収捜索は、ロッテグループの中長期構想にクリティカルになることもある。仕上げ手順に思われた、経営権紛争の火種も蘇ることもできる。シンドンジュ前ロッテホールディングス副会長側が 6 月の株主総会でシン・ドンビンロッテグループ会長の経営能力を問題視して反撃を試みる可能性がある。先月 19 日ホテルロッテの企業公開に公式着手しバラ色の未来を設計していたロッテグループがわずか 2 週間で暗いリップングに包まれている。

2016-06-03 09:30 | CBS ノーカットニュースチョン記者